

# がんばろう 南三陸町 復興第7号



発行所  
**マイタウン企画**  
本吉郡南三陸町志津川字沼田150-84  
TEL (47) 3069  
後援:  
**志津川広報センター**



復興元年の志小入学式  
元気に育ってと皆が願う

4月9日、10時より志津川小学校体育館で46名の新一年生の入学式が開催されました。

式では国歌斉唱に引き続き、南三陸町教育委員会の小島さんより、志津川小学校加藤校長への「児童引き渡し」が行われ、ピカピカの46名の新一年生の誕生となった。

校長先生の式辞では「大変りっぱです」と第一声で話し、「皆さんの顔がキラキラ輝いている」と新入生の姿を語った。加藤校長の3つのお願いでは「しっかりと返事や挨拶ができる事」「自分の事は自分でできるようになって欲しい」「安全に気を付けて登校下校をしてほしい」と、楽しい学校生活の過ごし方を話した。

佐藤町長は、「町の復興には子供たちの明るい笑顔と笑い声が必要です」と話し、先生には「子供たちへの目配り気配りを」とお願いした。

父母教師会の佐藤会長は志津川の被災前のパネルを示し、「6年後にはこのような町になるように、私たちも頑張りますから、皆さんもガンバってください」と祝辞を述べた。

父兄からは、「日々の生活を通して成長していければと思います」と入学式開催の謝辞を述べた。まだまだ被災地の状況は厳しいながら、一步一步進んでほしいという町民総ての願いが、「未来を担う子供たちの入学」「新しい町づくりへのスタート」と、同化して見えてくる。



志中入学式は、78名の新入生を迎え、4月9日午後から体育館で開催された。吹奏楽部の演奏と出席の父兄・先生・来賓・在校生の大きな拍手に迎えられ、胸を張り一人一人の入場で始まった。



66回入学式  
頑張れ志中生

菅原校長は式辞の中で、多くの支援への気持ちを、南三陸町から感謝の思いを伝えてくれたのは、志津川中学校生徒会のおかげと話し、37回の生徒会の歴史伝統を、先輩たちの活動から見習ってほしい。また、父兄の皆さんには「学校と家族が信頼の手をつなぎ、互いの立場を尊重し合い、復興再生の担い手を共に育てていきましょう」とお願いした。

祝辞で後藤議長は「復興の過程は数十年かかるかもしれない。今感じていることを忘れず前向きに生きてほしい」と、議会としても教育課題に取り組んでいくことを誓った。

歓迎の言葉では、在校生代表の西城皇祐くんが、中学校生活には部活・生徒会・勉強がある。「さあ今日から皆さんは志津川中学校の一員です。胸を張って誇れる志津川中学校を作りましょう」と話した。誓いの言葉では新入生を代表して千葉優衣さんが、東日本大震災から2年目を迎え、新しい勉強や部活、そして友だちを作ることに「今ワクワクしている」と語り、今年度から志中に併設となる「戸倉中学校」の皆さんとも仲良くしたいと話した。

中学校生活は身体的、精神的に成長する第2次成長期である。そして第2次反抗期でもあり、自我の目覚めの時でもある。生徒を学校・家庭・社会が見守り、育てる環境整備の充実も求められる。

## 宮城県テコンドー大会 「南三陸町テコンドー協会」大活躍

3月18日大河原町総合体育館で行われました。この大会に南三陸町テコンドー協会から6名の選手が出場個人戦キョルギ(組手)プムセ(型)の試合が行われ大健闘致しました。

- キョルギ(組手) 男女幼児 優勝  
近藤 恋 (伊里前保育所)
- キョルギ(組手) 女子3・4年 3位  
阿部若菜 (志津川小3年)
- キョルギ(組手) 女子3・4年 4位敢闘賞  
近藤 月 (伊里前小3年)
- キョルギ(組手) 男子1・2年 4位敢闘賞  
佐藤史玖 (入谷小1年)
- プムセ(型) 小学生6年以下 優勝  
阿部裕貴人 (名足小6年)
- プムセ(型) 小学生6年以下 準優勝  
佐藤優弥 (入谷小4年)



### 練習生募集

練習日 毎週水曜日 PM7:00~8:30  
練習場所 歌津中剣道場  
連絡先 南三陸町テコンドー協会  
TEL 46-4441

◆防具付空手会員も募集しております。

## 京都府三和町 大原神社より 紅白小のぼり寄贈



戸倉波伝谷の戸倉神社

戸倉波伝谷地区は「東日本大震災」により、町並みや田畑など地域のすべてが津波で消失してしまった。その中で小高い丘にあった「戸倉神社」の本殿だけがその難を逃れることができた。

4月から南三陸町においても各神社の「春季大祭」が開催されている。そんな中で「戸倉神社」へ祭りの再開にと3月20日、京都府福山市の三和町の「大原神社」から、氏子代表数名が戸倉波伝谷を訪れ、戸倉神社に紅白50枚の小のぼりが寄贈された。4月15日祭り前から本殿に通じる石段沿いに、多くの「のぼり」が立ち戸倉神社の祭りの再開を告げている。

この日は「獅子舞」が地域に散らばった仮設を回り、無病息災や身体健護などを祈願しながら宮司と氏子が地域民にお札などを配った。

戸倉神社の齋藤宮司さんは「戸倉地区の総ての氏子の皆さんにお札を届けたい」と話している。町の仮設やみなし仮設など広範囲に被災した方の把握は難しく、お札の欲しい方は連絡をと呼び掛けている。(電話 0226-46-9421)

## 天女塚・狗(いぬ)塚の再建



志津川町指定史跡「天女塚・狗塚」が被災し、津の宮の地区民により再び建立された。竹島に舞い降りた天女のひとりが、ふたたび天に帰ることができず、一緒にいた子犬と

もども塚に、津の宮の人々が葬ったと伝えられる。

## 3月定例議会 10議員が質問

### ◆山内孝樹氏

東日本大震災によって多くの文化財が失われたが、町の歴史を伝承していくには文化財保護は不可欠。どう取り組むのか。学校教育にも文化財の学習を取り入れるべきでは。

教育長 国・県・町指定の文化財は53件あるが、17件が流失・浸水した。修繕可能なものについては国・県の支援により修復している。志津川、歌津町史についてはデジタル化を図りたい。教育現場では地域学習やふるさと教育などを通じ、町の歴史を伝えていく。

生涯学習課長 被災した17件の文化財のうち、がれきや流失によって数件の確認ができていない。現在、コンサル会社が調査しており、結果を一覧にまとめた。

### ◆高橋兼次氏

①高台移転の進捗よく状況は ②東京電力福島第一原発事故に伴う放射性物質による農水産物の影響はあるのか。町としてどう対応するのか。

町長 ①防災集団移転は20地区程度を想定しており、5地区で移転の合意形成がなされている。移転に対する住民の考え方の総論は賛成だが、「終の棲家」を求めるとなると、地域によって様々な事情がある。地域の人たちには丁寧にきめ細やかに対応したい。②志津川魚市場では週3回の放射線量を調査し、買受人に通知している。我々に出来ることは、農水産物全般において正確な情報をお知らせし、風評被害を防ぐことだ。

### ◆星喜美男氏

①震災で自宅を失った人たちの中には、自己所有地への自立再建を目指すケースもある。奨励金などの支援策を講じるべきだ。②石巻市などでは小中学校の避難マニュアルが問題視されている。当町の対応は。

町長 ①町の復興計画の中では防災集団移転を推進しており、奨励金支出の考えはない。

教育長 ②子供たちには「自分の命は自分で守る」という防災教育が必要であり、在校時以外の対応を含め、24年度の学校防災計画に具体を盛り込みたい。来年度から各学校に配置される防災主任を中心に取り組む。学校ごとの防災計画もチェックする。

### ◆三浦清人氏

①東日本大震災の影響により、今後も人口減少が進む。企業誘致など雇用対策は ②防災集団移転を希望している戸数はどれくらいか。

町長 ①民間の会社が従業員40人募集したが、申し込みはゼロだった。労働意欲の低下と求人と、求職のマッチングが課題と考えている。企業誘致は行っているが、企業から用地を聞かれると頭が痛い。三陸道、東北道の存在を売りにトップセールスを継続しており、理解をお願いしたい。

復興事業促進課長 ②寄木・葦の浜で35戸、藤浜10戸、馬場・中山が40戸弱、伊里前は約110戸、戸倉の旧ゴルフ場開発地は取りまとめ中だ。

### ◆山内昇一氏

被災した魚竜館、松原公園、サンオーレそではま、荒島パークの復旧は。田東山頂付近の道路が決壊しており、補修せよ。

町長 魚竜化石は守っていくが、歌津地域の観光施設は別の場所に設置したい。松原公園を復活させるのではなく、震災復興公園として整備する。産業振興課長 サンオーレと荒島パークは県が整備したものだが、漁港自体の復旧を優先させたい考えのようだ。地元と協議しながら時間をかけて復旧すると聞いている。

建設課長 田東山の道路は災害復旧事業として取り組む。つつじ祭りに間に合うように整備したい。

※一般質問は順不同です。続きは次回掲載します。